

萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさん、こんにちは。季節の変わり目で、気温の変化がありますが、体調崩していませんか？ 秋雨でいい天気が長続きしませんが、晴れているときに一気に溜まった仕事を進めたいですね。

10月というと、山梨では、新種のワインができて、無料試飲できる場所が多いので、次の休みには、チーズ持参で、ワイナリーツアーでも行こうかと考えている堀内貢次です。

愛車ハイエースの車祓い

石材メンテナンスをする上で、倉庫のように使っている、愛車ハイエースが、先日のボヤ事故から修理して帰ってきました。実に3か月ぶりの復帰です。内装はすべて新品に変わりシートも洗浄をしたので、ほとんど新車気分です。

だから、今回は車と交通の安全を祈願して、神社にお祓いに行ってきました

まずは、御社殿にて、玉串を捧げて参拝し、それから車の前にて、神職様に車のお祓いをしていただくのですが、その時すべての扉をあけるようにと言われ、スライドドアのステップには薬品が10種類以

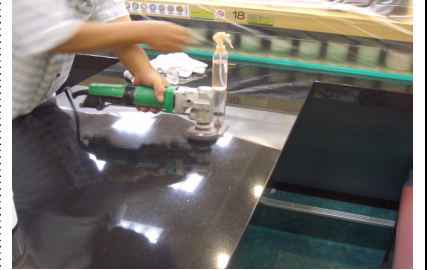
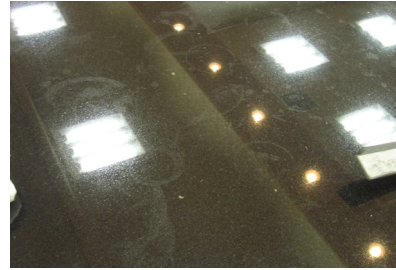


も並び、後部荷物入には、仕事帰りに寄った為、ゴミの袋が所狭しに置いてあったので、お祓いをしながらも神職の手が止まり、視線が無数の薬品に行っているのが印象的でした。

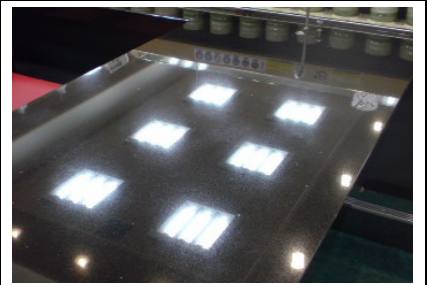
「山西黒の色抜け」

あるレストランでテーブルやカウンターに、山西黒の本磨きを使用されているのですが、コップ形の輪ジミはもちろん、中には、箸入れを置くだけで、石の色が抜けてくるというクレームがおきました。それもオープン1ヶ月目でそのようなことが起こったので、さすがに、オーナーさんもオカンムリです。納めた業者さんに言わせると、今まで山西黒でこのようなクレームは起きたことがないとのこと。そこで現調してみると、写真のように、丸や四角の形で白く色抜けしています。収めた業者さんが言うには、いつも見ている山西黒よりも、黒々していて妙なテカリ感があるとのこと。そこでまず、この輪ジミを取るために、研磨を行うのですが、色抜けしている部分のツヤもあまり落ちていないところを

みると表面に何かを塗って光沢をあげているようです。中国から入ってくるものには、今回以外でも、石に色づけしたものやワックス等で無理やりツヤ出ししているものがあったりして、製品を良く見せようとする傾向が

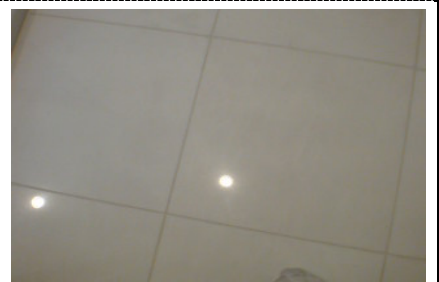


あるようです。さすがに、飲食するカウンターでは、そのような小細工は通用しないので、物理的に研磨をして全体を均一的仕上げて完了しました。



玄関土間石、シミ抜き第2位

玄関土間に茶色い斑点がよく出ます。原因は靴の革底の染料ですね。最近の分譲マンションでは、玄関の土間には必ずというくらい、大理石が使用されていますが、石には吸水性があるので注意が必要です。特に雨の日に濡れた革靴は置かないように！！。



ちなみにマンションのシミ抜きベスト3は1位→ゴミ袋から出る油シミ、2位→靴のシミ、3位→シミに見える様なツヤ無です。

(編集後記) 今年も娘の中学の学園祭で英語劇「レ・ミゼラブル」があり観にいつてきました。娘も萌黄(もえぎ)はナレーターと娘役の二役でしたが、内容的にもジーンとくる場面が多く感動しました。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (有) ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10

(電話) 03-3431-0387 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) kandsstg@jt4.so-net.ne.jp